

キャラクター名
聖城 静(せいじょう しず)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン キュマイラ		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	UGNチルドレン
オプショナル			年齢	16	性別	女
覚醒	感染	衝動	解放	初期侵食率	35	%
出自	名家の生まれ	経験	UGNへの忠誠	邂逅	師匠	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	3	1	0			4	行動値	1
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	1
精神	3	0	0			3	戦闘移動	6
社会	2	0	0			2	全力移動	12

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	3		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
[S]レイジングブレイド	白兵	4r	6	12		ダメージ+2D10 (シーン1回) 【行動値】-4 他の武器は装備できない
[S]ワーデンブレイズ(常備化無し)	白兵	4r+1	3	12		10m先にカバーリング可
		0				
[C]二本叩きつけ	白兵	8r		22		C値8 侵食率+8 達成値-4 <コンバットシステム>+<マルチウェポン>+<コンセントレイト>

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
フォーマル ウェポンケース	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス: 秘密兵器P		N		
Sロイス: 餅月きなこP	庇護	N 猜疑心		
レイジングブレイドP	傾倒	N 不安		
	P 感服	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト: ノイマン	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-LV(下限7)								
マルチウェポン	1	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 武器の攻撃力を合計								
パワーアーム	1	-	常時	-	自身	自動	-	
効果: 制限を無視して武器を両手に装備できる 侵食率+3								
フルパワーアタック	3	4	セットアップ	至近	自身	自動	80↑	
効果: 白兵攻撃+[LV×5]								
コンバットシステム	3	3	メジャー/リアクション	-	-	対決	-	
効果: ダイス+[LV+1]								
エクスマキナ	1	4	メジャー/リアクション	-	-	対決	リミット	
効果: 前提: コンバットシステム 達成値+10 シナリオLV回								
軍神の守り	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: カバーリングを行う,メインプロセス1回								
怪獣撃	3	6	メジャー	視界	単体	対決	100↑	
効果: 射程を視界に変更,ダメージ+[LV]D,シナリオ1回								
フォールンサラマンダー	2							
効果: ダメージ+2D,ラウンド1回,シナリオ3回								
猫の瞳	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 暗闇を見通せる。判定が必要な場合<知覚>								

元両手剣片手持ち二刀流お嬢様

基本的には優しく礼儀正しいお嬢様。
そんな彼女の信念は、全てのモノは自分の役割を果たすこと。
剣は剣として、盾は盾として、ちゃんと使ってあげなきゃ。
そして今の自分の役割はこの剣を振るうことだと思っている。
なので今日も大事な剣と共にUGNの仕事をごなしていく。
「現代日本でこのような剣を振るえる仕事なんてUGNくらいにしか有りませんわ」

自分の身の丈を大きく超える、青く輝く大剣と赤く輝く大剣を持つ。
青い剣はEXレネゲイドの剣だが詳細は不明、レネゲイドに感染した金属が何らかの変化を遂げたものと思われる。
彼女だけがある程度の意思の疎通ができる。彼女日く戦っているときは楽しそうにしているがそれ以外は大体寝ている。
赤い剣は青の剣を元にして作ったレプリカで色は単なるメッキ。
UGNで訓練を受け始めた時、青い剣だけだと振っていてもバランスが取れなかった彼女が実家に頼んで買って貰った。